

補助事業番号 19-5

補助事業名 平成19年度光産業の戦略的事業展開のための調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 光産業技術振興協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

光産業の戦略的事業展開と基幹産業としての成長発展を図るため、光産業に関する基盤調査、研究開発、新規事業の支援及び普及啓発を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容 (<http://www.oitda.or.jp/main/keirin/hojo.html>)

① 光テクノロジーロードマップの策定

今後の光技術への具体的なニーズを明らかにし、それに応える研究・技術開発の道筋を明らかにすることを狙いとした「光テクノロジーロードマップの策定」活動と、最先端光エレクトロニクス技術の研究開発の促進に資すべく「ブレークスルー技術フォーラム」の活動を行った。

② 光産業の戦略的事業展開のための基盤調査

企業の経営戦略・研究開発戦略立案に資するとともに、ロードマップ策定のための基礎資料とした。

ア. 光産業動向調査

光産業の国内生産規模、産業リソース（雇用従業員数、研究開発者数、研究開発投資額）等の現状把握、世界の光産業動向等を調査した。

イ. 光技術動向調査

国内外の科学技術全体の中で、光技術の的確な動向を把握すべく調査を進めると共に、特許動向、主要国際会議に見る先端光技術研究の動向について調査した。

③ 創業・新事業展開支援

産学官連携のもとに、ベンチャー及び中小企業の光技術に係る新規事業を支援する。

ア. 技術アドバイザ等

光産業の活性化を促進するため、光ベンチャービジネス・中小企業への技術指導を行う技術アドバイザ制度において、68件のアドバイス活動を行った。

イ. 新規事業創造支援

中小中堅企業、ベンチャー企業、大学等の展示会等への出展を支援した。

また、業界有識者を講師に迎えて新規事業創造支援セミナーを開催した。

ウ. 開発プロジェクト

有望技術シーズの事業化支援のため、技術開発・プロトタイプ開発を行う。本年度は3件の開発推進プロジェクトと3件の試用・評価プロジェクトを実施した。

④ 光技術の人材育成・普及啓発

ア. 人材育成・普及啓発

光産業技術に関する情報を広く普及啓発させるために、各分野の専門家を講師に迎え、シンポジウム、フォーラム及びセミナーを開催した。

イ. 普及啓発・国際化のための資料作成

国内外の普及啓発広報活動のため、技術情報レポート、成果報告、Annual Reportを作成した。

2. 予想される事業実施効果

① 光テクノロジーロードマップの策定

調査結果は、今後の政策提言、ナショナルプロジェクト立案、企業戦略立案等を図る上で、極めて有効な基礎資料となることが想定される。特に光産業が属する機械工業分野での大いなる活用が期待される。

② 光産業の戦略的事業展開のための基盤調査事業

ア. 光産業動向調査

企業が事業の方向性検討や計画策定のための一つの指針となり、わが国光産業の振興および生産規模の拡大に寄与するものと期待される。またわが国の光産業技術に関する政策立案のための指標としての活用が期待される。

イ. 光技術動向調査

光技術の全体を把握し、かつ個々の専門技術を理解する上で役立つとともに研究者の研究開発の方向を見極めるための指標としての活用、さらに企業として今後の光産業の振興に深く係わる技術開発の枠組み構築に寄与するものと期待される。

③ 創業・新事業展開支援

ア. 技術アドバイザー等

光分野のベンチャービジネス・中小企業、企業内ベンチャーに対する技術指導等を通じ、各企業の新規事業展開、新製品の開発から従来製品の改良等に寄与し、わが国の機械工業を支える中小ものづくり産業の育成に貢献することが期待される。

イ. 新規事業創造支援

光ベンチャービジネスセミナーや光ベンチャーブース等のベンチャーPR 手段は、ベンチャーの事業立ち上げ、経営に大きく資するものであり、新規産業の形

成や中小ものづくり産業の育成に貢献すると期待される。

ウ. 開発プロジェクト

本事業では、優秀な技術シーズを持つ地方の中小機械工業、機械工業中心のベンチャー企業が主に選定されており、本事業実施により中小機械工業の研究開発が大きく進展する。開発システムの事業化が達成されれば、地域機械工業の振興にも大きく寄与できることになる。

④ 光技術の人材育成・普及啓発

ア. 人材育成・普及啓発

シンポジウム等での最新の情報の交換、技術者の交流は、今後の光産業技術の普及に大きく寄与するものと考えられる。また人材を育成することにより光技術力の全般的な底上げを図り、わが国の機械産業競争力の向上に寄与することが期待される。

イ. 普及啓発・国際化のための資料作成

英文資料を広く配布し、国際的な技術交流を図ることにより、わが国光技術の発展に寄与するものと期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

① 光テクノロジーロードマップ策定

- ー光テクノロジーロードマップ報告書（省エネに貢献するネットワーク技術）
- ーブレークスルー技術調査報告書
 - ・ 微細構造光デバイス
 - ・ シリコンフォトニクス

② 光産業の戦略的事業展開のための基盤調査

ア. 光産業動向調査

- ー光産業動向セミナー予稿集
- ー光産業の動向
- ーCD-ROM 版報告
 - 1. 光テクノロジーロードマップ（省エネに貢献するネットワーク技術）
 - 2. フォトニクス・イノベーションⅡ、3. シリコンフォトニクス
 - 4. 光産業動向調査、5. 光技術動向調査、6. 光技術に関する特許動向調査
 - 7. 開発プロジェクト、8. 技術情報レポート（光と医・食・農）
 - 9. オプトニューズ Vol.1 No.3（2007）～ Vol.2 No.2（2008）

イ. 光技術動向調査

- ー光技術動向調査報告書

－光技術に関する特許動向調査報告書

③ 創業・新事業展開支援

イ. 新規事業創造支援

－平成 19 年度光産業ベンチャービジネスセミナー予稿集

ウ. 開発プロジェクト

－開発プロジェクト報告書

④ 光技術の人材育成・普及啓発

ア. 人材育成・普及啓発事業

－ブレイクスルーフォーラム

・案内パンフレット／講演予稿集（アグリフォトニクス）

・案内パンフレット／講演予稿集（フォトニックイノベーション）

・案内ポスター（シリコンフォトニクス）

－第 27 回光産業技術シンポジウム 案内パンフレット／参加証／講演資料

－光産業技術標準化シンポジウム 講演資料

－第 11 回光技術シンポジウム 講演予稿集

－光協会特許フォーラム 講演資料集

イ. 普及啓発・国際化のための資料作成

－成果報告 2006 年度

－Annual Report, 2006

－技術情報レポート－光と医・食・農－

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 光産業技術振興協会

(ヒカリサンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住所： 112-0014

東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階

代表者： 会長 庄山 悦彦(ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 総務部(ソウムブ)

担当者名： 部長 中島 真人(ナカジマ マサト)

総務課総括係長 杉山 絵里子(スギヤマ エリコ)

電話番号： 03-5225-6431

FAX番号： 03-5225-6435

E-mail: web@oitda.or.jp

U R L: <http://www.oitda.or.jp/>